

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全2枚)

氏 名 南出 貞子

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
1	<p>組織再編に伴う職員の負担と市民の理解について</p> <p>3月は、年度末という業務多忙な時期であることから、今回の市役所の組織再編については、市民の方々への周知だけでなく、職員の業務負担も考慮し、十分な準備と配慮が必要であると考えます。</p> <p>また、市民の理解が得られるよう、市政の改革の方向性と組織再編が必要となった要因を十分に示した上で行うべきであると考えますが、所見を問う。</p>	
2	<p>危機対策部設置に係る事業内容について</p> <p>昨今の気候変動や天災・人災など、いつ起こるか分からない事態に備えるため、今回の部設置については、時期的にもよい方向ではないかと感じている。</p> <p>そこで、従来市の主催の防災訓練や、各地区等への研修や訓練だけでなく、部の事業としてより一層の市民の安心・安全を確保することが求められる。「先を見据えた」命を守る部として、どのような事業内容とするのか。</p>	
3	<p>大聖寺実業高校の生徒からの意見への対応について</p> <p>今年度も、加賀市議会と大聖寺実業高校との意見交換会を実施したが、その中で「介護者という仕事の人気を上げるために体験会を開く」といった提案があった。</p> <p>大聖寺実業高校では、ふるさと学の授業の一環でハンドケアの体験マッサージなどは実施しているようだが、市においては、大聖寺実業高校に出向き、介護職についての理解を促進するための講座などを実施できないものか。</p>	
4	<p>萬松園あいうえおの杜の頂上付近に隣接する廃業旅館について</p> <p>長年放置されていた山代温泉の旧KKR山代荘跡地については、昨年8月に萬松園あいうえおの杜として開園して以来、市内外から多くの人々が訪れている。特に入り口から園内に進み、白木造りの階段から眺む近隣の風景や、時折漂う人工の霧により不思議な雰囲気包まれ、何とも言えない情景が広がる。階段を登り詰め振り返ると、山代温泉の風景が一望に広がり、すがすがしい気持ちになる。今では山代温泉の名物の一つになっている。</p> <p>しかし、せっかく登り詰めた頂上付近には、まだ廃業旅館2棟が立ちはだかっている。そこで、目隠しとは言えないまでも、せめて、萬松園の風景などの壁画等で楽しめる工夫が必要ではないか。せっかく、多くの費用と時間をかけて造り上げた山代温泉の名所であるため、皆さんに喜んでもらえる工夫が喫緊の課題であり、早急な対応が必要であると考えますが、所見を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全2枚)

氏 名 南出 貞子

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
5	<p>廃業旅館西鶴苑の対応と景観整備について</p> <p>令和7年9月定例会でも写真を示して早急な対応ができないかと質問したが、その後の進捗状況について示せ。</p> <p>現状は目隠しの塀で囲まれているが、内側から草などが見え隠れしている状況は、山代温泉の中心街とは思えない状況である。せっかく、山代温泉を訪れていただいたお客様はもちろんのこと、近隣住民にとっても不安な状況である。もはや先延ばしはできないこの現状を鑑み、明確で前向きな所見を問う。</p>	
6	<p>国際女性デーの取組について</p> <p>国際連合は国際婦人年に当たる1975年に、3月8日を「国際女性デー」と定めた。女性の権利向上を求める歴史的な出来事が重なったことがきっかけとなり定められたものであり、女性の社会参加と地位向上を呼びかけ、「ジェンダー平等」を考える日とされている。</p> <p>そこで、「国際女性デー」について、加賀市としても具体的な取組が必要であると思うが、所見を問う。</p>	